

発行所 公益社団法人自衛隊家族会 広島県自衛隊家族会 編集責任者 福谷 薫 事務局 山崎 修治 廿日市市宮園九丁目4-12 FAX 0829-38-3236



自衛隊家族会シンボルマーク

会長挨拶



公益社団法人自衛隊家族会 広島県自衛隊家族会 会長 福谷 薫

令和3年7月23日、真夏の空に航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が、五大大陸を表す五つの輪を描き、東京オリピック2020の開催を高らかに告げました。

一昨年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に全世界に拡散し未だに私達を震撼させています。パンデミックの状況下におけるオリピックの開催について賛否両論が激しく争われました。最終的にオリピック史上初めての無観客開催となり、その盛り上がり疑問を残す事となりました。しかし、競技が本格化して見ると、日本勢の連日の金メダル獲得により、国中が大いに高揚している様子は、明るいニュースとして私達に活気と前向きな気持ちをもたらしています。

「世界が大きな困難に直面する今こそ団結し、人類の努力と英知により大会を開催、成功できる。このことを世界に発信していきたい」と菅義偉首相は、国際オリンピック委員会総会で述べられています。改めて本オリンピックが、「コロナ禍に希望と力を届ける」世界の祭典として、見事にその役割を果たす事を心から祈念する次第です。 さて、自衛隊員として勤務する息子、娘を持つ親を中心に構成される私達「公益社団法人広島県自衛隊家族会」(以下、家族会)は、「隊員に最も身近な存在である事に誇りを持ち、力を合わせて自衛隊を支える」

との信条を掲げて、地道ですが種々の活動に汗を流しています。こうした家族会の活動に対して、日頃から賛助会員を始めとする多くの皆様から、温かいご支援・ご協力を頂いています。引き続きご厚情を賜りますよう、この場を借りて重ねてお願いを申し上げます。

家族会では、毎年この時期に「自衛ひろしま」を発刊しております。コロナ禍の厳しい環境ではありますが、本年も県下から350名を超す多くの若者が、大きな希望を胸に抱きつつ自衛隊に入隊・入校致しました。新入隊者・入校者にとっては、我が国を巡る安全保障環境が一段と厳しさを増す中で、人生の進路の選択であり、不安な気持ちも多々あった事と思います。しかし毅然として志を貫き、自衛隊員としての道を選ばれた彼らに深く敬意を表し、同時にこの決断を快諾され、強く背中を押して下さったご家族の皆様へ厚く感謝を申し上げます。

本年の新入隊員・入校者の晴れ舞台である入隊式・入校式は、コロナの拡散防止の為、昨年に続き、自衛隊員のみで実施されました。我が息子が、我が娘の晴れ姿を目にする機会を失われたご両親・ご家族の無念さは想像するに難くありません。 「自衛ひろしま」発刊の目的は、新たに自衛隊に入隊・入校した若者の抱負や夢、そして自衛隊での初めての教育・訓練に立ち向かい奮闘する様子をお知らせし、ご家族の皆様

に安心して頂くことにあります。「自衛ひろしま」に登場する多くの若者は、新しい世界に於いて、日々の教育・訓練に自らの限界を求め、同期との切磋琢磨を通じて絆を深め、逞しい自衛隊員を目指して頑張っています。そうした姿は、きつと息子を、娘を案じるご家族のお気持ちを力づける一助になると信じます。更に「自衛ひろしま」は、近い将来、自衛隊員を目指す後輩の若者に希望と夢を与えると共に国民の皆様へ自衛隊への一層の理解を深めて頂く資料でもあります。

自衛隊員は、己の身の危険を顧みることなく「国の独立と平和」の為に我が国周辺の常続的な警戒監視や災害派遣、更には国際平和活動等の諸任務に日夜邁進しています。その力の源は、国民の皆様からの力強い支持と声援です。その為にも、国民の皆様が、実際の自衛隊の姿に接し理解を深めて頂くことが極めて大切です。この機会に是非「自衛ひろしま」を一読いただき、自衛隊に対する理解を深め更なるご支援をお願い申し上げます。

最後にになりましたが、常日頃からご支援・ご協力を頂いています。自衛隊広島地方協力本部を始め、県下の自衛隊各部隊、関係機関、各自衛隊支援団体及び今回の「自衛ひろしま」の発刊に当たり、協賛広告掲載にご協力を頂きました皆様へ衷心より御礼を申し上げます。

私たちの信条 私たちは 隊員に最も身近な存在であることに誇りを持ち力をあわせて自衛隊を支えます 一、自らの国は 自ら守る防衛意識を高めます 一、自衛隊員の募集・就職支援及び家族支援に協力します 一、会員数を増大し 組織の活動力を高めます

ご挨拶



自衛隊広島地方協力本部長 1等海佐 鷹尾 潤

広島県家族会の皆様におかれましては、令和2年度も、本部及び各事務所が大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

さて、私の地本勤務も三年目、今回三度目の「自衛ひろしま」への投稿の機会を頂きましたので、全くの私見ですが、この二年間で感じた「危機感」について、紙面をお借りして少し書かせて頂きます。

まず、募集環境を含めた現状への認識ですが、第一に募集適齢者の減少です。広島県では毎年千六百人近くの高校生が減少しており、毎年のようにクラスが減っている高校もあると聞きます。高校生が減り大学生も減り、その高校生、大学生を自衛隊に限らず、企業、官庁、自治体などで取り合わなくてはなりません。

第二に、自衛隊というものが、我々自身が思うほど知られていない、関心を持たれていないことを痛感しました。もちろん、理解し応援して下さいますが、多くは無関心というものが現実ではないでしょうか。

第三は、二つ目の裏返しですが、国防や安全保障に関しても無関心です。平和はあって当然、誰かが維持しているとは思ってもよらず、ただ甘受するのみ、です。

第四に、地元志向のますますの強まりです。本人はもちろん、ご両親もだと思えますが、地元ではなくても、すぐに戻られる「近場」での就職を希望する方が多くなっていると感じます。

数での寝起き、団体行動、連帯責任、時間の制約、スマホが自由に使えないなど、どれも現代の社会が進んできた方向とは異なるように見えます。自衛隊が、今の日常とあまりにもかけて離れているのかもしれない。入隊してすぐの教育期間はしょうがないとしても、部隊に行っても、例えば艦艇ならば、二十四時間仕事と生活が一緒、朝も夜も同じ顔。寝るのは2段階ベッド。当直交代で毎日寝る時間も変わり、スマホどころかメールも自由に使えない日々。そのような世界を、なぜ自分が選ばなくてはならないのか、好きこのんで飛び込まなくてはならないのか、誰か他の人がやればいけないのか、誰かこれらの根幹には、安全保障教育の欠如があると考えます。と言って大仰なことではなく、自分の国は自分で守る、そのために軍隊(日本では自衛隊)がある、何より国を守ることは国民一人一人の大切な責務であるということ、そして自衛隊を必要不可欠な当たり前の存在として、小学校から教えるということで行っている教育をやるだけのことです。

しかし実際はそうではなく、学校の授業で「国を守る」ということが、しっかりと教えられているとは言えないでしょう。

ではどうするか。この状況をほんの少しでも補うことができるのが、いわゆる「広報」だと考えています。自衛隊を理解する入口として、幅広い年齢、様々な考えの方に直に自衛隊を見ていただく機会ですが、残念ながら令和2年はほぼ全て、令和3年もこのままではその機会が非常に少なくなるでしょう。

しかし少ない機会だからこそ、やる場合には最大の効果を出さなくてはなりません。その際には、募集適齢者への広報だけでは遅すぎ狭すぎで、より若い小中学生へのアプローチが重要です。御両親御家族、学校や塾の先生といった影響力のある方々に、自衛隊の重要性と存在意義について正しく理解していただくことも大切です。また、常日頃から自衛隊を応援して下さる方々との連携も強化し、その波及効果にも期待をしています。広島ではスポーツチームとの連携が挙げられます。広島県は、スポーツ観戦人口が日本一であり、カープ、サンフレッチェ、ドラゴンフライズ、JTサンダース広島、アンジュビオレといったチームには、様々な形で御協力頂き、広報の機会も頂いているところです。

加えて、特に任期制隊員に対しては、地元に戻る就職支援を重視し、地元志向に促せるよう力を注いでいます。本人にも御家族にも安心してできる「出口」の準備がますます重要になると考えています。

長々と書いてきましたが、最後に、多少の失礼を承知で、誤解を恐れずに比喩しますと、かつては定置網で魚が取れました。しかし、それだけでは獲れなくなり、今は沖合に出てトロール漁を行っています。ところが、これもだんだん漁獲量は減っています。次にどうするか。

次は養殖です。そのためには稚魚を捕まえる必要はありません。この稚魚を捕まえるのが広報活動であり、自衛隊の必要性を理解して身近に感じてもらう、将来、自衛隊を職業の選択肢として考えてもらえる。自衛隊の中で直接募集を担当する地方協力本部にとって、その年の入隊者を確保することはもちろん重要な任務ですが、将来を見据えた取り組みも行っていくかなんてはならない、そのような時代になったと、今、考えています。

そのためには、広島県家族会の皆様におかれましては、どうぞ、令和3年度も多大なる御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「希望に満ちて」入隊者所感

一般幹部候補生



入隊に際しての所感

石原 あかり

私は、幹部として指揮を執るためには、堂々とした姿勢で命令や指示を发出することが必要だと考えている。なぜなら、威勢のない姿勢で臨めば、部下が不安を覚え、発出した命令や指示に不信感を抱くからである。また、指揮官の姿勢は部下の士気に大きく影響を及ぼすため、課程履修を通じて、幹部としての立ち振る舞いを学び、威勢ある言動がとれるように努める所存である。同期とはかけがえない存在であると考えている。課程履修中には数々の試練に直面することになるだろう。しかし、その困難を共に乗り越えていく同期を大切に、相互に助け合いながら成長したいと考える。最後に、幹部候補生学校卒業後は、幹部自衛官として部下を持つこととなるため、在学中に積極的な様々なことに取り組む

所存である。また、卒業時に自身の成長が感じられるよう、後悔のない日々を送っていききたい。「自ら考え、判断し、行動する」という幹部候補生学校の教育理念を体現できるように同期と助け合いながら、課程履修に邁進する所存である。

(三原市出身)



入隊に際しての所感

小林 薫平

入隊に際し服務の宣誓を行った時、少しの不安があったが国を守るという使命感で身が引き締まった。この気持ちは生涯大切にしていきたいと思う。幹部候補生学校に入校し、本校では幹部として必要な知識や技能の習得に力が注がれていると実感している。また、それだけではなく、幹部としての心構え等の教育も行われている。しかし、こうした教育環境が整っていたとしても、その中に身を置いていくだけでは真の成長には繋がらないと考える。そこで、大事にしたいこと

が2つある。それは、「協調性」と「主体性」である。掛け算の組織である航空自衛隊で団結力は欠かせない。また、幹部として指示待ちではなく主体的に行動し、組織の中核とならなければならない。従ってこれらに必要な「協調性」と「主体性」を身に付けるため、日々意識し課程教育に臨んでいきたい。幹部候補生学校で学ぶ上で、自己の成長が組織を強くするという気概を持ち、努力していく所存である。そして、組織をリードする幹部自衛官になっていききたい。

(安芸区出身)



入隊に際しての所感

松本 梨沙

幹部候補生学校に入校して2か月が経った。この2か月は慣れないことばかりで忙しく、自分でも驚くほどあつという間であった。私の幹部候補生学校での心構えは、コミュニケーションをとることである。大きな組織で動く自衛隊にとって、隊員同士で情報を

共有することは必要不可欠である。特に、区隊長や同期への報告や相談を怠らないよう心掛けていく。報告や相談をしなければ、全体に迷惑をかけてしまうことがあるからである。周りの人たちの力を借りながら、分からないことを分らないままにしないようにしたい。また、課業や仕事以外でもコミュニケーションをとることを大切にしている。コミュニケーションをとることができ、信頼関係を築くことができると思うからである。私は入校当初、初めてのことが多かったため、とても不安に感じていた。しかし、区隊長や同期が助けてくれたので、今は不安も和らぎ、充実した生活を送っている。区隊長や同期は優秀な人が多く、尊敬するところがたくさんあり、恵まれた環境で教育を受けていると日々感じている。これからも同期たちと互いに切磋琢磨し、自ら考え判断し行動できる幹部自衛官になれるよう、この課程に臨みたいと考える。

(南区出身)

一般幹部候補生
陸・海・空幹部自衛官になるコース

一般・歯科・薬剤科のコースから各自衛隊の幹部自衛官となる者(飛行要員含む)を養成する制度です。

防衛医科 大学校学生

入校に際しての所感

吉田 翔太郎

4月1日、慣れないスーツに身を包み、私は防衛医科大学校の正門をくぐりました。6日の入校式を控えた新入生はこの日から入寮するため、私は84名の医学科同期と共に新しい生活のスタートを迎えました。しかし、期待でいっぱいだった学生85名は、まもなく衝撃を受けることになりました。入校式が終わわり、真っ先に叩き込まれたのは医学でも英語でもなく、ベッドメイキングとアイロンかけでした。夜8時半から寮の各エリアの1年生は集合し、居室の整頓状況やベッドメイキングの出来について1人ずつ指導され、その後すぐ

に制服、作業服の点検と指導が行われます。この指導が本当に厳しく、甘えは全く許されません。例えば服の点検では、シワが1本でもあればやり直しになり、洗濯にかけられることもありました。日中は各種手続きや訓練のため、本当に医学生という実感が湧かない日々でした。5月の初め、突然1年生が集められ、「指導期間」の終了を告げられました。入校から続いた指導は、新入生を1人の自衛隊員として育て上げるためのものだったので、与えられた仕事を素早く、正確にこなす能力を指導期間を通して体得しました。それは、今後の人生において強力な武器になると思います。それからは部活動が始まり、先輩方ともとても仲良くさせて頂いています。ラットの解剖など、医学生っぽいこともするようになり、現在はとても楽しい生活を送れていると感じています。

(安佐北区出身)

防衛医科大学校医学科学生
自衛隊の医師を養成するコース

将来、医師として活躍する。自衛隊の医師として、患者の命を救う。医療の発展に貢献する。自衛隊の医師として、患者の命を救う。医療の発展に貢献する。

だるま・紅白幕、必勝はちまき、のぼり旗

甲三堂造花有限公司

〒730-0845
広島市中区舟入川口町 14-1
TEL :082-298-2000
FAX :082-298-2002
http://decoplus.jp/

呉市海事歴史科学館 第29回企画展

竣工80年 戦艦「大和」と軍港

【会期】 2021年 7/31(土) ~ 2022年 5/30(月)

【料金】
※常設展とのセット料金
一般 800円
高校生 500円
小・中学生 300円

大和ミュージアム

英霊に感謝の誠を捧げましょう

初宮、安産、厄除、会社祈願等・神前結婚式

広島城跡鎮座

広島護国神社

〒730-0011 広島市中区基町 21 番2号
電話 082(221)5590 FAX 082-(223)8830
https://www.h-gokoku.or.jp/
Email hirogosha@h-gokoku.or.jp

防衛医科大学校
看護学科学生



入校に際しての所感

川合 美海

令和三年四月一日に防衛医科大学校に入校してから約二ヶ月が経ちました。初めの一ヶ月は先輩からの指導も厳しく、つらいと感じることが多々ありましたが、同期の仲間と協力して乗り越えることができました。慣れない集団生活で戸惑うこともありましたが、同期たちと助け合いながら日々過ごしています。同期とはすぐに打ち解け、仲良くなることができました。ここでの生活は、アイロンがけや靴磨きをしたり、毎日掃除をしたりと、自衛官として、また一人の人間として恥ずかしくないよう成長することができると感じました。今では学友会活動も始まり、充実した学校生活を送っています。新型コロナウイルスの影響で、ほとんどがオンライン授業なので、計画的に課題をこなすよう努力しています。この学校での生活は、規則に厳しいと感じることもありますが、規則には一つ一つ意味があり、自分を守るためにも存在しているのだと

理解しています。看護師になるための勉強をするにも、自衛官としての心構えや体力を身につけるための良い環境がこの学校にはあります。これからも、私を支えてくださる指導官や先輩、同期など周りにいる人への感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきます。
(安芸区出身)



入校に際しての所感

宍戸 太郎

私が自衛官候補看護学生として本校に入校してきて早二か月、短い期間のようですが、本校以外ではほぼありえないようなことを数多く経験してきました。例えば訓練や自衛隊特有の規律など、枚挙にいとまがありません。時には厳しくつらいこともありましたが、それは入校前から知らされていたことで、当然私も相應の覚悟を持って本校に入校してきました。本校の学生は一般の大学生とは違い、行動にいくらかの制約があります。それでも私は本校に入校してきたのですから、当然それなりの動機があります。主なものとしては以下の二点です。まずお金が掛からないので親に迷惑をかけずに済んだり、何より本校の看護学科では

看護師の資格のみならず、保健師の資格も取ることが出来ます。国家試験の合格率としても昨年、一昨年と百パーセントを記録しています。もう一点は、生活の面においても学友活動や、制限は厳しいですが外出して休日有意義に過ごすこともできます。苦楽を共にした仲間もたくさんで、本校に入校してからの日々はあまりにも充実していることが分かります。少なくとも、私自身進学先を選ぶにあたって本校を選択したことは最良の判断だったと確信していますし、私の母校や地元の後輩にも自信を持って進学を勧めることができる大学です。
(呉市出身)

防衛医科大学校看護学科学生

保健師・看護師である幹部自衛官
となるべき者を育成するコース



受け入れ資質を要する。空入に必要な資格を国・海軍・自衛隊に学び、教育指導官として自衛官として勤務する。4年間の教育指導官として勤務する。保健師・看護師の資格取得を目指す。保健師・看護師の資格取得を目指す。保健師・看護師の資格取得を目指す。

一般曹候補生



入隊に際しての所感

大場 明志

自衛隊に入隊して2ヶ月が経ちました。初めての団体生活で最初は慣れないことが多く大変でしたが、今では毎日楽しく生活しています。自分が入隊して良かった事は、決められた時間にはやるべきことをやらなければいけない生活だったので、入隊前より時間を守れるようになったことです。また、時間を守る上で仲間と協力しなければいけない場面もあったので、仲間と助け合う中で絆も生まれました。教育期間中は辛い事もたくさんありましたが、得たものも大きいのです。後期教育では、訓練の準備を完璧にしようと思っています。前期教育では、事前の準備を怠り、職員に迷惑を掛けた事が多くありました。この反省を活かして、後期教育では私が皆を引っばっていきたく思います。私はまだまだ慣れないことばかりで、毎日勉強している日々です。しかし、一般企業ではなかなか経験できない事が、自衛

隊にはたくさんあります。また、大切な仲間とめぐり合う事ができました。皆さんもこの経験を是非、体験してみたいかがでしょうか。皆さんの入隊を待っています。
(廿日市市出身)



入隊に際しての所感

河野 凌太

私は、入隊してすぐに取締係という区隊をまとめる大事な役を任せられました。最初は、知らない人を指揮してまとめなければならぬというプレッシャーから辞めようかなと思ったことがありました。ですが、班長に声をかけられ自分がどういう目的で自衛隊に入隊したのか、再度確認することができました。自衛隊には、体力検定があり、自分はこの間にやるべきことを、正直トレーニングをサボって過ごしてきました。その結果、腕立て22回と自衛官ではありえない回数になってしまいました。受験希望の方に知っていただきたいことは、勉強をすることももちろん大切ではありますが、体力作りもしっかりとやっておいた方が良く、思いままなどで寮生活をしてきた人

には少し慣れた環境かもしれませんが、他の人は慣れるまで苦しくなることが必ずあると思います。ですが、そんな時は班長を頼ることも大切です。相談すれば必ず解決策と一緒に考えて下さり、絶対に見捨てず背中を押してくれます。自衛隊は、苦しいこともたくさんありますが、それ以上に楽しいこともあるので、良い職業だと私は思っています。
(佐伯区出身)



入隊に際しての所感

小舛 天照

自分が一般陸曹候補生として松山駐屯地に到着し、居室に行ったらときには、自分以外全員いて、ぬい物などの作業を行っていたので、班員と早くも差がついてしまったと思います。とても焦りました。しかし、実際そんなことはなく、すぐに追いつくことができました。朝の点呼は、最初の1週間は間に合わなかったのですが、班長にアドバイスをいただいたら、半長靴の靴紐を最初から緩めて、すぐに履けるようになり、服はボタンを数カ所とめておいて、朝に上からかぶるだけでいいようにするなど、色々工夫す

宿泊、お食事、宴会・・・そして
婚礼・法要・お祝い事などの各種パーティーに。



東洋観光グループ
ホテル広島サンプラザ
HOTEL HIROSHIMA SUNPLAZA

TEL 082-278-5000

〒733-0833 広島市西区商工センター3丁目1-1 FAX (082)278-1703

JR新井口駅より徒歩8分好アクセス! URL <http://www.hiroshima-sunplaza.com>



<http://www.seifukunofuji.com>
fuji@seifukunofuji.com

よい服をより安く買える専門店

(株) 制服のフジ

呉市中通1丁目1-21

御注文はフリーダイヤル(料金着信払い)

(0120)21-7731 又は(0823)21-7731
FAX (0823)25-0130

ることによって、朝の点呼に間に合うことができた時は、自分が成長していると思いき、嬉しかったです。他にも、初めて行軍をした頃は10キロ歩くだけでとても疲れを感じていましたが、25キロ行軍の時には、10キロを楽に歩けたり、射撃訓練で、訓練があるたび姿勢や照準を見直し、自分なりに研究することにより、射撃の点数を上げる事が出来たときに自分が成長できていた事が改めて確認できました。それが自信につながりました。それにより、取組係に上番した際、何度もプレッシャーに負けそうになりましたが、今までの成長や自信をバネに乗り切る事ができました。自分は今後より多く成長し、自衛官の一本となるよう努力します。

(安芸区出身)



入隊に際しての所感

菅野 颯太

私は、この松山駐屯地で前期教育を受け始めて約2ヶ月が経ちました。前期教育が始まってから、私の生活はがらりと変わりました。朝は6時起床で5分以内に着替え、屋上に上がり、点呼をしたり、週末には1時間と長い間掃除をしたり

など、普通の日常では無いことばかりで慣れない生活でしたが、今では、6時起床や点呼、長い掃除になれ、班のメンバーと協力し合い、頑張っています。休日は次の訓練の準備をしたり、駐屯地の外へ出て同じ班や区隊の人と外食や買い物などをして過ごしています。入隊する前の自衛隊のイメージは基本教練や射撃、戦闘訓練ばかりで、勉強はあまりしなないと思っていましたが、覚えることが沢山あり、これらを覚えないうと訓練どころではないため、覚えられるように努めています。班長達は、訓練などの課業中はとて厳しいですが、自分たちのことを真剣に考えてくれていたり、悩みの相談に乗ってくれたり、とても優しいです。自衛隊は、自分を変え、成長させるのにとっても適していると思います。キツイことや辛い事も多いですが、乗り切った後の達成感は計り知れません。

(山県郡出身)



入隊に際しての所感

鈴木 良太郎

私は一般陸曹候補生課程教育を受けるため、松山の第332共通教育中隊でも刺激的で濃い毎日を

送っています。入隊当初、まず感じた事はスポーツマシーンが多いという事です。私は音楽大学を卒業したばかりで体力が無くすぐく不安でした。しかし班長の熱心なご指導のおかげで少しずつ体力がついてきました。なのでこれからも体力検定に向けて努力していきたいです。また私は教育課程を通して様々な事を学びました。それは音楽隊員といえど一人の自衛官であり、国防の為に自覚と責任を持つて行動しなければならぬという事、仲間と一致団結し目標に向けて全力で立ち向かう事の大切さ、そして陸上自衛官である為には心身共に強くなければならないという事です。入隊して2ヶ月、訓練全盛期を迎えており、毎日班の仲間達と規則正しい生活を送り、体力錬成や戦闘訓練だけでなく、様々な座学があります。たまに心が負けてしまいがちな時もありますが、自分がこの先どんな自衛官でどんな音楽隊員になりたいかをしっかり考えてこれからの教育も頑張っていきたいです。

(南区出身)



入隊に際しての所感

延安 正夏

私が自衛隊に入隊しようと思った動機は、昨年の春に広報官の方に声をかけていただき、駐屯地を見学させていただいたところ、自衛隊の中にも様々な職種があり、自分にもあった職種があると思いました。また、西日本豪雨災害時の復旧作業をしている自衛官の姿をニュースで見ても感銘をうけ、私も国民の方のために働き、役に立ちたいと思いい入隊を決めました。着隊前の生活とは異なっており、ベッドメイク、裁縫及び洗濯といったことを全て自分でしなくては行けないという事もあり、入隊してすぐは家族や友達に会いたかったです。初めの3日間くらい営内班の同期とうまく話せず不安を感じていましたが、日を重ねるごとに打ち解けていくことができ、すぐ気持ち楽になりました。入隊してすぐ訓練が始まるのではなく、裁縫などの作業を主にしたので驚きました。訓練も徐々に厳しくなっていくので日々の体力錬成がすごく大事になってくると思います。入隊して時間の大切さを学び、また、自衛隊は単独行動をすることがないので周りを意識して正しい判断をする必要があるということも分かりました。少しでも早く一人前の自衛官になることができるといいな日々精進して頑張っています。

(尾道市出身)



入隊に際しての所感

平岡 拓也

私が自衛隊に入隊してから早くも2ヶ月近くが経過しようとしています。入隊してからの頃は、他の入隊者と比べて年齢が上なこともあって上手くやっていたのか、また、体力的にもついていくことができたのか心配でした。しかし、時間が過ぎていくたびに区隊の仲間とも仲良くなってきました。厳しい訓練にも耐えることができていることが、成長していることが実感できています。休日は自分が考えていたよりも多くあり、区隊の仲間とともに体力錬成をしたり、近くのショッピングモールに買い物に行ったりと充実した日々を過ごしています。また、私がいる松山駐屯地は、近くに有名な道後温泉もあり、観光や気分転換もでき、より訓練で力を発揮するこ

とができています。私は自衛隊に入隊し、とても良かったと考えていると共に、もっと早く入隊していればとも考えています。なので自衛隊に少しでも興味のある方は近くの駐屯地か、もしくは地方協力本部の方に連絡してみてください。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

平本 就

私が入隊して得たものは主に二つあります。一つ目は頼れる同期です。「日々成長」これは中隊長要望事項であり、曹を目指す自衛官として、一見当たり前のことと思えますが、それを要求され日々を過ごすことは、とても難しいことでした。着隊前の生活とは異なり厳格な規律の中、洗濯及び裁縫、ベッドメイクなどすべて自分自身でやります。各種訓練においても体力的についていけないか心配することはない不安を感じたこともありません。着隊し、多くの課業作業や訓練及び行事等の準備に追われ目まぐるしい日々を過ごしています。しかし、前向きな気持ちで日々を過ごし、同期とともに切磋琢磨することで諦めず乗り越えていくことがで

株式会社 エッチアルディ
磁気処理すれば!!

水が魅る よみがえ

販売代理店 せきの ふじお
販理法人会会員 関野 不二男
自衛官募集相談員
E-mail: sekino-fujio@ezweb.ne.jp
〒739-0144 広島市八本松南3-5-18
TEL: 082-428-2768
FAX: 082-428-2768
携帯: 080-5621-4513

HRD
HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT

企業や個人事業者様の税務・会計・その他経営に関わる全てを総合的にサポートいたします。
個人の所得税、相続税、家族信託などの身近な税の相談も親身に対応いたします。

吉田 憲一 税理士事務所

事業継承・M&A、顧問税理士・決算、確定申告、会社設立、資金調達、
経営コンサル、経理業務、税務調査、人事労務等お気軽にご相談下さい

〒732-0822 広島市南区松原町3番2-2503号 グランクロスタワー広島
TEL : 082 - 568 - 6008 FAX : 082 - 568 - 6033

ホームページ

きました。二つ目は、挑戦する事の大切さです。誇り高い陸上自衛官心得に「挑戦・挑め果敢に」とありま

す。着隊してから挑戦することの連続でした。取締役や内務係、そして各種行事など人の前に立ち話をする事が非常に増えました。何

度も指導受けや失敗を繰り返すことで自分自身、人前で話すことが苦手だったが徐々に克服することができました。最後に、これまで支援して下さったたくさんの方々

に深く感謝申し上げます。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

見川 遼佑

私は、自衛隊に入隊してから3ヶ月が経とうとしています。今、前期教育もほとんど終わり、次の後期教育に向けての準備が進んでいます。私は、前期教育で大きく学んだことが二つあります。一つ目は、同期と協力することです。自衛隊は団体生活が基本です。そんな生活の中で、皆が同じことを同時にやってみると効率が悪く、時間も掛かります。そこで心掛けていることが、皆で分担して訓練の準備をすることです。こうすることで、効率も良

くなり、少ない時間の中で準備を完璧にできるようになりました。二つ目は、諦めない事です。この3ヶ月の教育の中には、戦闘訓練や25キロ行軍といった体力的にも精神的にも厳しいことがありました。そんな訓練の中でも絶対に諦めないという気持ちで挑むことにより乗り越えることが出来ました。これからの自衛隊

人生の中ではこれ以上に厳しいことが沢山あると思います。ですが、前期教育で学んだ「同期と協力することの大切さ」と「諦めない事」を大切にしていきたい。

(庄原市出身)



入隊に際しての所感

和田 昌也

入隊して3ヶ月が経とうとしていきます。前期教育もあと数日となり後期教育への異動が近づいています。私は、新隊員前期教育で多くの事を学びました。その中でも25キロ行軍や戦闘訓練では同期との協力や団結力を学びました。特に戦闘訓練ではバディと班長、班員が一つになり、声を掛け合いながら最終目標地点へと進んでいきます。25キロ行軍では、協力や団結力の他にも絶対に諦めない気持ちも学びました。25キロ行

軍では歩く距離を幾つかに分けて歩きました。その際に歩けば歩くほど疲労が溜まり、とてもしんどく諦めたい気持ちも生まれてしまいましたが、私一人が諦めてしまおうと班や区隊、中隊の全員で歩ききるという任務が遂行出来なくなってしまう。また、同期もしんどい気持ちや疲労を我慢して歩ききろうとしていると考えると、私も絶対諦めてはならないと思いました。前期教育では、この様なこれからの自衛隊生活で大切になる事を学びました。最後に、色々な事を教育して下さった第110教育大隊の皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

(庄原市出身)



入隊に際しての所感

池之原 真

私は自衛隊に入隊する前、自衛隊は教官が厳しく、日々の訓練が過酷で精神的にきつい仕事だと思っていた。しかし実際は、教官方は厳しい時もあるが、学生のことを第一に考えており、体調を気遣ってくれ、相談事等には、親身になって話を聞いてくれていた。また、訓練は基礎体力が身につかないと辛いこと

もあるが、入隊前から少しずつ運動を行っていたら難しくなさせるものだと思います。私は泳ぎが苦手であるが、入隊した時に泳ぐことができなくても、水泳の教務があり、その中で泳げるように指導をしてくれています。また、どうしても泳げない場合でも教官がマンツーマンで指導してくれるため、終業時には大半の学生が泳げるようになっていくと思う。私も、初めは全く泳げなかったが、現在は50mを何とか泳ぐことができています。最後に、私の志望動機について、私は父が自衛官であり、潜水艦に乗って働いている。その姿に憧れ、私自身も同様に潜水艦に乗って働きたいと考え、入隊を志望した。また、給料の安定した仕事に就きたいと考えていたため、国家公務員である海上自衛隊への入隊を志望した。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

橋本 慈恩

私が海上自衛官を目指すことと決心したのは高校生のときだ。私の住んでいた地域は西日本豪雨の被害を受けた。その際、救助に訪れた自衛隊の方々の姿に感銘を受け、父の職業でもある

海上自衛官に心がひかれた。私はそれから父に話を聞いた。自分で調べる等して自衛隊について様々なことを知った。その中でも興味をもったのは、災害派遣のことだった。父は実際に東日本大震災のときに出勤した話をしてくれて、「ありがとう」と民間の人に言われた時に本当にこの仕事をやっていて良かったと言っていた。それを聞いて私も海上自衛官になりたいと強く思った。入隊前の第一歩に心を躍らせながら、上司や同期との人間関係等に不安を抱えていた。だが入隊して二ヶ月が経った今では、協力し合いながらも競い合う仲間たちと、私たちに寄りそい、厳しくも優しく教育して下さる班長の方々に囲まれ、余計な不安もなく、専心自己研鑽に励むことができてい

(安芸郡出身)



入隊に際しての所感

福原 照平

私は今年春、高校を卒業と同時に、第十六期一般曹

候補生として呉教育隊に入隊した。入隊した主な動機として国防という重要な職務を担う自衛官の姿に憧れていたことや災害などが起きた際、人の役に立ちたいと思ったなどがある。入隊してから数か月たったが自衛隊での生活はとても充実している。中でも同期と共に日々筋トレや教務に臨むのは、日々の成長ややりがいを感じる。また集団生活を通じて今まで知らなかったことに色々気づくことができた。もちろん、いいことばかりではない。私は教官室の入室要領を度々間違え、何度もやり直しになった。また、運動が苦手なことでボール投げが全く飛ばなくて困ったことがある。でも同期や班長が丁寧に教えてくれ練習にも付き合ってもらった。おかげで教官室への入室要領やボール投げのフォームなどできないこともすぐにできるようになった。このよう

(廿日市市出身)

入隊に際しての所感

自衛隊ふれあいコンサート
 ~陸上自衛隊第13音楽隊と廿日市市立阿部台中学校のコラボ~
 令和4年 9月17日(土) 開演14:00 入場無料
 自衛隊ふれあいコンサート

大型サロンバス マイクロバス タクシー
 「お帰りなさい」をお届けするまで安全・快適な旅をお約束します。
 タクシー配車受付 0829-32-8989
 観光課(課観光バス) 0829-32-3304
 廿日市交通株式会社 738-0033 広島県廿日市市串戸3-24-1

緑と太陽の丘に育ち信頼と技術で伸びる
 総合建設業
小林建設株式会社
 本社 広島県庄原市東本町四丁目1番1号
 TEL (0824) 72-2185 (代)
 営業所 三次



入隊に際しての所感

山下 銀太郎

私が海上自衛隊に入隊した動機は二つあります。一つは日本という国、国民、そして海を守る仕事内容にやりがいを感じたからです。人生の中でたくさん人の役に立ち、社会に貢献したい思いがありました。二つ目は、一度きりの人生なのでもっと広い世界を見てみたいからです。胸を張って自慢できる仕事だと思っています。3月末に着隊して2か月たつが毎日が充実しています。長いようであつという間で生活し、期と6人1部屋で生活し、新しい出会いもあり毎日が新鮮な気持ちです。自衛隊に入隊してから規則正しい生活が送れるようになりま

覚し、誇りを持って全力で仕事に尽くしていこうと思

(安佐北区出身)



入隊に際しての所感

吉田 直樹

私の入隊理由は3つあります。1つ目は父が海上自衛官であり、仕事をする上で悩みを相談できるからです。2つ目は国を守る仕事をしたいと思いました。3つ目は、学生時代、陸上競技をしていた私は、オリンピック・世界陸上といった日本の栄光を背負う選手のように憧れを持ったためです。入隊前、教育期間は5か月もあり、とてもきついなと思っていましたが、入隊してみると、やはりきついなと感じます。しかし、休日は自由な時間を過ごすことができるので、とても楽しく、リラクセスしています。さらに、外出してゆめタウン、レクレなどの商業施設で買い物を楽しんだり、隊内施設で筋力トレーニング、ランニングマシンを利用したり、プールで泳いだり、1周1キロのグラウンドを走ったりと様々なことを行いながら、余暇を楽しんでいます。毎朝起床後、筋力トレーニングをしています。教務は、座学半分、

実技半分で行われています。実技は小銃を使った訓練、手旗訓練など、様々な訓練が行われています。毎日大変ですが、今ではとても達成感を感じるようになりました。

(安芸郡出身)



入隊に際しての所感

岡本 澯

私は元々、公務員志望で市役所の事務職に就きたかったのですが、不合格という結果で終わってしまいました。でも、人の役に立つ仕事をしたかったという気持ちが変わらず、また広報官との縁もあり、自衛隊の道を選びました。航空自衛隊は、陸、海と比べて多種多様であり、民間とは違う経験ができることから、入隊を決意しました。入隊当初は、普段の日常生活との大きな違いや規律の厳しさを感じましたが、日にちを重ねるごとに自衛隊生活に慣れていくようになりまし

自衛補官生



入隊に際しての所感

愛川 起生

入隊してから毎日が忙しくて疲れが溜まりやすいですが、やりがいのある訓練ができて楽しいと思えます。入隊当初は人間関係や生活環境の変化に対して不安な気持ちになりました。訓練が始まってからは怒られることも増えたりして辛いと思う時もありましたが、辛い時こそ声を出して厳しい訓練を乗り越えてきました。入隊して良かったことは、今までの自分の生活リズムを改善できたり、メリハリのある行動をより向上できることです。自衛隊は時間に厳しく絶対に遅れてはいけません。そのため、常に時間管理を意識して生活しています。そのため、生活リズムも安定してよりメリハリのある行動ができるようになりました。自衛隊は厳しい職場ですが、休日や給料が安定していることややりがいのある職場なので、不満はありません。もうすぐ前期教育が終わって後期教育が始まるので、今後の目標は自衛官としての誇りを忘れず人々の

役に立っていきなりたいと思います。そのために今後の予定は、武器科で車両整備をしたいと考えています。理由は災害派遣で役に立つ車両を直接自分の手で整備したり、自衛隊を退職しても民間企業で生かしていけると思ったからです。これからも国民のために働いていきたいです。

(東区出身)



入隊に際しての所感

岸本 彩心

私が陸上自衛官になりましたと思ったのは、2018年に起きた西日本豪雨災害のときでした。私は、呉市出身なので西日本豪雨災害の恐ろしさを身をもって感じました。私が高校1年生のときでした。水道も使えず、スーパーやコンビニも品切れで閉店していて今までの生活がなくなってしまいました。そのような状況の中でも自衛官の方たちは、捜索活動などいろいろな面で支援してくださり、私も人の役に立つ仕事がしたいと思ひ陸上自衛官になろうと思いました。私は入隊して間もない頃は、普段の生活でのアイロン、洗濯物、靴磨きなどまったくできず不安でいっぱいでした。今までの生活では、まったく

一般曹候補生

陸・海・空のプロになるコース



自衛官として、26年間を積み重ね、航空自衛隊で高卒資格を得る。海上自衛隊で航海士として活躍。陸上自衛隊で歩兵として戦う。自衛隊の成り立ちを知り、自分に合った道を選びたい。

(福山市出身)



地盤調査・鋼管杭・地盤改良

IZUMO

《事業内容》

- スウェーデン式サウンディング試験 ○表面波探査 ○標準貫入試験(ボーリング) ○測量 ○土壌調査 ○環境パイル(木杭) ○鋼管杭打ち工事(認定・評定) ○柱状改良工事 ○狭小地杭打ち工事 ○沈下測量調査 ○各種沈下修正工事



出雲建設株式会社

代表取締役 吾郷 俊宏

本社 〒739-2627 広島県東広島市黒瀬橋原北三丁目10番14号 TEL(0823)82-3135

- 福山営業所 〒721-0973 広島県福山市南蔵王町4丁目7-33 TEL(084)924-3270 山陰営業所 〒683-0853 鳥取県米子市両三柳876-1 TEL(0859)24-3780 松山営業所 〒791-8067 愛媛県松山市古三津5丁目17-25 TEL(089)989-8251 防府営業所 〒747-0064 山口県防府市大字高井636-2 TEL(0835)27-0860

やったことの無いようなことをやらなさいといけないうので、私はこの先やっていけないのだからかと不安でした。それでも今ではできる事も増え、少しずつ自分に自信ができてきました。私は、陸上自衛隊に入隊して本当に良かったと思っています。厳しい環境の中で自分を磨くことができると思うからです。私は、もう少して前期教育が終われば後期教育が始まります。後期教育でもまた新たにできないことやわからないこともたくさんあると思いますが、諦めず頑張っていこうと思っています。

(呉市出身)



入隊に際しての所感

久保 慧伍

私は、自衛隊に入隊して変わりました。最初は辛くて泣きながら戦闘訓練に臨んでいました。しかし、徐々に段階を追ってテキパキと行動できるようになりました。日々の行動も変わりました。行動が変わると同時に自分自身も変わりました。生きている感覚が自衛隊に入隊してすごく感じます。私の父が自衛官ということもあり、昔から自衛隊は身近に感じていました。入隊して思ったことは、自分は

すごく恵まれて育っていたんだと感じました。すべての事を自分で行わないといけないので最初は大変苦労しました。でもすぐに生活にも慣れて、毎日楽しい日々を過ごしています。一番大変だった訓練は射撃訓練です。私は、射撃が苦手です。的の中心になかなか当たらず大変苦労しました。班長から言われたことは、「銃の重さは責任の重さ。しっかりとした取り扱いはして指導されないように。」と言われ、初めて自衛隊として訓練していると感じました。25km行進も頑張りました。私は、25km行進前に体調を崩してしまい、出来るか不安でした。しかし、皆が頑張っている生活をしていたので、自分もやらないといけないという気持ちになりました。訓練を重ねる度に慣れてくるので、諦めずに積極的に頑張っていきたいです。

(佐伯区出身)



入隊に際しての所感

桑田 汐

自衛隊に入隊して2ヵ月がたち、前期教育も残り1ヶ月になりました。初めは、一気に色々なルールを教えられて、適応するのに時間もかかり、とても大変

でした。最初の1週間ほどは、同期ともなかなか会話が弾まず、3ヶ月間を乗り切れるか心配でしたが、厳しい訓練を繰り返す内に、同期と話せるようになり毎日が楽しくなっています。しかし、家族が次第に恋しくなり、ホームシック気味になってしまいました。しかし、ゴールデンウィークで家に帰省して過ごす、自分が今までどれだけ親に甘やかされていたか良く分かりました。同時に自分が少しだけ成長していることを実感して嬉しかったです。休暇が終わって、原村演習場の総合野営ではしんどいことの連続で、何度もうけそうになりました。だが、同期と助け合うことで大イベントの25キロ行進もなんとか完歩することができました。こんなにかげがえのない仲間達とも残り約1ヶ月しか一緒に過ごせません。助教の方々とも会えなくなるかもしれないので毎日をかみしめながら生活していきたいです。さらに、自分達は自衛官から2士という階級をあたえられ、晴れて自衛官になるので一層気を引き締めていきたいです。

(福山市出身)



入隊に際しての所感

澤岡 雅仁

前期教育の終わりに差し掛かっている私が記す所感は3つある。1つ目は、人生の中で運動を継続的にしていない人は入隊してから体力検定で苦労する。訓練で体育をするが、それだけで合格ラインに必ず乗ることは難しいと周りの人を見て感じた。以上のことから私は、入隊する前からランニング、筋トレを少しでも習慣にするべきだと考える。2つ目は、教育の終盤で学科試験があると、課業を適当に流していると、試験範囲が広いため焦って勉強をすることになった。以上のことから、日頃の訓練で質問する、何度も繰り返して練習するなど積極的な姿勢をとり、同期に教えられる程度に成長する必要があると考える。3つ目は、集団生活をする中で自分の時間を確保できない、同期の失敗にイライラするなどのストレス、慣れない訓練をすることで体力的にも疲労して、感情的になり仲間が強くなる同期を見た。以上の事から私は、同期との関係を良く保つために、誰でも失敗するのだという、己と同期に対する失敗許容力が必要であると考える。以上3つのことが私の考える

所感である。

(江田島市出身)



入隊に際しての所感

島中 翔帆

自衛官候補生として入隊して三ヵ月、とても充実した日々でした。四月、入隊したばかりの頃は周りが見知らぬ顔ばかりで、団体生活に馴染むことができなかった。また課業についても、普通の大学や民間企業で学ぶ事と大きく違っていて慣れるまでに時間も掛かりました。五月に入ってから、訓練も激化し、高い気温と早めの梅雨による環境の目まぐるしい変化で徐々に体力を奪われていきました。教官の指導も一層厳しさを増し、精神的にも追い詰めにされました。そんな中、私が折れることなく乗り越えられたのは、同期の仲間達の支えがあったからです。最初は不安だった彼らとの関係も今ではかけがえのないものとなりました。そして六月、培ってきた知識と技能を大成として教官方に見せつける時期です。胸を張って自衛官となるために結果を残せる大事な一ヶ月となりました。一瞬の気の緩みも許されず、また、後期教育へと旅立つ仲間との最後の時間でもあ

りました。この三ヶ月を乗り越えた経験は、必ずこれからの人生に活かします。まずは後期教育に向けて、この経験を糧とし、邁進してまいります。

(西区出身)



入隊に際しての所感

杉原 涼

あと二週間で前期教育が終わろうとしている時、私が思っている事は、最初は同期、班の仲間と色々な事がうまくいかなかった自分自身もストレスが溜まっていく事もありました。この三ヵ月でいろいろな訓練をしていく中で、コミュニケーションなどがとれてきました。入隊して一ヵ月と少しが過ぎた頃、銃を扱うようになり最初は軽い気持ちでいましたが、いざ持つてみると「重い」と言ってしまうくらいでした。銃を持つて訓練をするようになつてきたら、射撃があり、射撃では気を付けてしないと他人を殺してしまふ事があるのでいつもの倍は緊張してしまいます。二十五キロを深夜から昼まで歩いた時は最初は何となく眠かったけど、出発したら眠気が吹き飛びました。その日は朝から大雨で、雨具を着てからの出発でした。半分が過ぎた頃、皆疲

相続診断士

広島都市圏・関東圏で20年以上の不動産営業の実績があります。近年、増えている相続に関して「不動産」の活用がとて大きなポイントです。不動産の資産化や現金化はもちろん「信託」を利用することで新しい相続の可能性を相続前の準備や相続が発生した時など、個別のケースに合わせてご提案いたします。

竹田不動産コンサルティング事務所

〒733-0872 広島市西区古江東町25番19号 スターアーク古江東901号
Tel 080-1229-1433 e-mail 75m.take@gmail.com

自衛隊のご発展を応援します。

工業用から、趣味の鉦まで……。
広島で唯一の鉦専門店

鉄工用鉦、両刃摺込鉦
組鉦、製材用鉦
特殊精密鉦、並にダイヤモンドヤスリ

はたにやすり商店

〒733-0012 広島市西区 中広町2丁目26-16-103

電話 (082) 231-1664
FAX (082) 231-1666

新型コロナ対策を徹底し
外来・オンライン診療がんばってます
皆様の御支援に感謝です!!

平田内科医院

廿日市市阿品台4丁目1-26

電話 0829-39-1155



入隊に際しての所感

田邊 瑠彌捺

私は災害派遣をテレビで見て、自分も人の役に立ちたいと思い自衛隊に入隊しました。私が自衛隊で印象に残っている訓練は主に2つあります。1つ目は基本教練です。基本教練は、敬礼や姿勢、銃の持ち方など自衛隊の基本の動作を習う訓練です。基本教練は最後まで習うと練度判定というテストがあります。練度判定は練度が高い順に1位から3位まで表彰されます。自分達の班は努力が認められ、優秀班1位を取る事ができました。班で力を合わせて賞を取ったので印象に残っています。2つ目は体力検定です。自分は元々体力には自信がありません

れで気分が落ち込んでいたけど、休止間で皆と話して気分を取り戻しつつ完歩を目標に頑張りました。残り五キロの時、自分は正直半分諦めかけていました。けど、仲間と励まし合い完歩しました。自衛隊は、助教の方や先輩方が厳しい時は厳しくして下さるので、自分を成長させたいと思ったから自衛隊はピッタリだと思います。

(世羅郡出身)



入隊に際しての所感

田村 真大

私が自衛隊に入ってから学んだ事は、協調性や周りを見る事、社会人というのがどういうものなのか、また上司の人との話し方、接し方など色々学びました。特に私が学んだことは、自衛隊は集団生活なので皆と協力することが大切だということです。後、周りを見て行動したり、声かけしたりすることです。一人で出来なかった事も達成することが出来ました。自衛隊に対するイメージは厳しいイメージがあると思いますが、入隊して感じた事は入隊前のイメージとは違い、指導してくれる助教の

した。自分は特に、腕立て伏せが苦手でした。だけど自衛隊の日々の訓練や自主的に仲間と行う筋力トレーニングで腕立て伏せの回数が増え、体力に自信が持てるようになりました。自衛隊は、人命救助や自分磨き等、自衛隊ならではの一般の人には体験できない事が、体験できる職場です。今、どこに進学しようか、どこに就職しようか迷っている人は自衛隊に入隊する事をオススメします。

(神石郡出身)



入隊に際しての所感

林 学

私は、自衛官候補生で入隊しました。入隊した部屋の人数は八人部屋でした。八人いますが、全員初対面です。最初の二週間とても部屋が静かで入隊した当初からとても不安でした。しかし、急に班員の人が話しかけてくれました。そこから段々と部屋の中が明るい空気になるようになりました。訓練が始まり、私は不安なことがありませんでした。それは体力の問題です。私は、走ったり

方々は、自分が色々失敗しても最後まで丁寧な理解するまで教えてくれますし、課外では、訓練の時とは違ってすごく優しく接してくれます。そして、自衛隊に入ってから一番良かったことはかけがえのない仲間と出会えたことです。自衛隊は規則、規律、訓練がすごく厳しくて時には嫌になることもありますが、協力し合い助け合っていくことで信頼できる仲間ができました。最後に、もしまだ就職や進学が決まっていなかったら、人の役に立ってやり甲斐があった給料も安定している自衛隊を考えてみてください。

(安佐南区出身)



入隊に際しての所感

日高 蒼偉

私は今年の四月一日に第46普通科連隊教育隊に着隊しました。着隊当日は、班の人と話すことが出来ませんでした。また、何をしたらよいか分からず、これから班の人と仲良く協力

体力を使う事がとても苦手です。体力に自信がなく、不安になっていました。班長に「不安にならなくていいよ。」と声を掛けていただきました。少し不安がなくなりました。訓練の中に体育の課目があります。その体育の課目は走ります。走って実際に、全然体力はなく、なかなか着いていくことが難しかったですが、仲間のみんなや班長が背中を押してくださりギリギリですが体育の課目を頑張る事ができました。入隊して二カ月が経った頃、入隊当初とは全く雰囲気の違いも感じなくなりました。訓練が楽しくなり、ストレスも飛びました。自衛隊は、ハードなイメージがあると思いますが、大丈夫なので安心して下さい。

(尾道市出身)



入隊に際しての所感

藤野 大斗

自衛隊に入隊して振り

し合っているかどうかわからない一杯でした。ですが三、四日目ぐらいいから徐々に班の人達と話し始め、作業服、制服のアイロンがけや、靴磨き、ベッドメイクのやり方なども班長、班付が丁寧に教えて下さったおかげで、不安も少なくなり楽しめるようになりました。四月十一日の入隊式を終えてから、一日の流れが早くなり、班長や班付の指導が徐々に厳しくなっていました。日々の時間に追われる生活となり、アイロンや靴磨きが出来なかった日もありました。が、班の人達が手伝ってくれたり、休憩時間や、課外の時間での班の人達との会話や彼女が大きな支えとなりました。指導部の方々は、日常生活では厳しいですが、時には面白い体験談などを話して下さり、とても大きな存在です。入隊して約三ヶ月経ちましたが、まだまだ体力や知識などの様々な面で未熟ですが、後期教育でもしっかりと日々の訓練に励み立派な自衛官になれるように努力したいと思っています。

(山県郡出身)

加藤友三郎銅像保存会 (旧加藤友三郎元帥研究会)

会長 大之木 小兵衛

〒737-8503 呉市中央3-8-21(株)大之木ダイモ内

Mail tomosaburo.kato@gmail.com

Tel 0823-21-1411

超保険ショップ ライフパートナーズ (自衛隊家族会会員・隊友会会員) <取扱い保険会社> 東京海上日動火災保険株式会社 防衛省団体保険自動車保険 <取扱い指定代理店> 防衛省団体火災保険 ※団体割引あります 本社/広島本店 広島市南区出汐1丁目17-28-201 TEL:082-255-5077 FAX:082-255-5227 東広島本店 東広島市西条下見5丁目4-33 クマオマンション1B TEL:082-436-3011 URL http://www.lp-cho.net

生活快館 サングリーン

三次市十日市東四丁目1番30号

☎(0824) 62-1111(代)

ビジネスホン 複合機 サーバー・PC 監視カメラ ナースコール 放送設備 LAN配線工事 システム設計・販売・施工・保守

小川電気通信株式会社

〒733-0022 広島市西区天満町9番17号

TEL082-291-0001 FAX082-232-1313



府中市の皆様へ愛されて54年!

憩いのお時間、お食事、個室でのミーティング等お気軽にご利用ください。

人気のランチメニュー AM11:30~PM2:00(月~土)

- 日替わりランチ ¥980
●パスタランチ ¥980
●サーロインステーキ ¥1,500

喫茶 白銀

府中市元町463-6 / TEL& FAX (0847) 45-2889

返ってみると早いもので二ヶ月が経過しました。私は高校で野球部に所属していたので、体力には自信がありました。寮生活は経験したことがなかった。入隊を楽しみにしていました。しかし、いざ入隊すると、訓練事項であったり、時間に追われる日々が続き、生活していくのが簡単ではないことを実感させられました。班長、班付に指導され、心も傷ついている中、入隊式で両親の顔を見ると泣きそうになりました。その後も何度も家に帰りたいたいと思いましたが、その度、自分はなぜ自衛隊へ入隊したのか思い出せずと、またやる気が湧いてきました。この二ヶ月で印象に残っていることは、原村演習場での総合訓練です。穴を掘ったり、手りゅう弾を投げたり、初めて経験することばかりで内容の濃い一週間であり、二十五キロ行進も完歩することができ、達成感も感じられた一週間でした。前期教育も残りわずかととなり、班員や同期、班長、班付と関わる時間も少なくなってきました。残りの一日一日を大切に、そして全力で過ごして、後期教育をいい形でスタートできるように頑張りたいと思います。

 (三次市出身)



入隊に際しての所感

片山 央圭

私は、祖父と叔父が自衛官であることから自衛官という仕事を身近に感じてもらい、幼い頃から憧れていました。そして、大学在学中に、西日本豪雨災害で隊員の方が入浴支援をしている傍らで楽器演奏している姿を見て、私も自分の演奏で人の心を支えたいと思いつき、令和3年に自衛官候補生として大津駐屯地の教育隊に入隊しました。自衛隊員は高校卒業後に入隊する人が多いため、集団生活をうまくやっていけるか、訓練内容についていくことができるのか分からず、不安で一杯でした。しかし始めてみると、同じように不安を抱えた同期達とすぐに打ち解けあうことができて嬉しかったです。訓練をしていく中で厳しさに心が折れそうなくともありましたが、どんなにきついことでも、同期皆で協力し、励まし合うことで乗り越えることができ、前期教育も終盤に差し掛かっています。後期教育では今まで苦難を乗り越えてきた同期と離れ、また新しい地で今よりも更に厳しい訓練が始まります。自分の夢であった音楽隊に近づいているという喜びと不安な気持ちで胸が一杯です。

後期教育中、心が折れることがあるかもしれない。しかし、与えられたことに全力で取り組み、しっかりと前を向き、期待に応えられるような自衛官になれるよう頑張っています。

 (中区出身)



入隊に際しての所感

田中 優那

自衛官候補生として大津にある第109教育大隊に入隊して早3ヶ月が経ちました。入隊前の噂で、訓練がとても肉体的に辛い、時間遅れだと腕立て伏せを何十回もさせられる等があるかと思いましたが、肉体的に確かに辛い時もあります。が、そこまでとても辛いという訳でも、遅刻すると腕立て伏せを何十回もさせられることはありません。入隊して思ったよりも辛くないと実感した人も少なくないと思います。自衛隊に入隊して良かった事は、時間を守れる様になったこと、体力ががついたこと、生活面で常に団体行動であり、日々の訓練で他の人と接する面も多く、色々な性格の人と接することができ、社交性、コミュニケーション能力をつけることができます。人と関わりが増え、良い体験ができて

ます。一日三食美味しく健康的なご飯が食べられます。女性必須痩せられます。電気代やガス代等の光熱費がかからないので自分自身がたくさん使わなければ、貯金がたくさん貯まります。良いこと尽くしです。入隊前とても怖いイメージと違い、毎日楽しく訓練をしています。

 (尾道市出身)



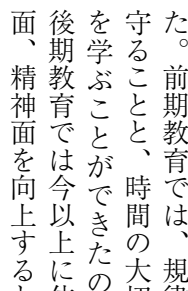
入隊に際しての所感

徳毛 菜月

私は、姉が元自衛官であることから自衛官という仕事に興味を持ち、私自身、心身共に鍛えたい気持ちもあり、自衛官候補生として大津駐屯地の教育隊に入隊しました。前期教育の終了が近づいてきて、入隊当初を振り返ってみると、少しは成長できたのかなと感じます。入隊前までの間は、親元を離れることや、訓練についていけるかなど沢山の不安を抱えていました。実際に入隊してからは、やはり新しい環境に慣れない夜もありました。しかし、共に厳しい訓練を乗り越えて支え合った同期や、応援してくれる家族や地元の友達のおかげで、自衛隊生活

が普通に送れるようになりました。訓練は厳しいですが、助教の方や、班長が丁寧に出てくるまで教えてくださるので、訓練についていけないのではという不安は杞憂に終わりました。また、自衛官は他の仕事では経験できないことができるので、そう思うと私は楽しく訓練することができました。前期教育では、規律を守ることで、時間の大切さを学ぶことができたので、後期教育では今以上に体力、精神面を向上すると共に、日々の目標設定をしながら頑張りたいと思います。

 (府中市出身)



入隊に際しての所感

仁井山 香心

私は小さい頃から人助けをしたいという気持ちが人一倍強く、高校では夢を実現するために公務員コースに入りました。警察や消防といった様々な選択肢があったのですが、私は特に自衛官という職業に興味を持ちました。理由は二つあります。一つ目は、多くの場所で幅広い年齢層の人々と交流することができる点と、人助けができる点に魅力を感じたからです。二つ目は西日本豪雨災害で自衛隊の方々の活躍を見

自衛官の皆様への福利厚生に
 全力をつくします

ローソン第1術科学校店

江田島市江田島町海自第1術校内
 TEL 0823-40-0010

私達も自衛隊を応援しています

有限会社 清水モーターズ

代表取締役 清水利一

自衛隊家族会江田島支部

〒737-2124 広島県江田島市江田島町宮ノ原3丁目5番22号
 TEL0823-42-1576 FAX0823-42-1578

おかげさまで創立75周年(創業98年)

備北交通で働く。

女性ドライバー歓迎

本社が駅前に移転しました

県北の交通網の要。あなたの力が必要です！

備北交通株式会社 TEL 0824-72-2123
 広島県庄原市東本町3丁目12-12 まずはお電話下さい。(担当:黒田)

WEB版 Debut!!

西広島のすべてが
 あなたの手に。

西広島タイムズ
 西広島タイムズ事業部
 ☎082-277-5011
 ☎082-277-1145

株式会社 エル・コ 印刷事業部
 〒733-0833 広島市西区商工センター7丁目5-17 http://www.l-co.co.jp

スマートフォンを操作するイラスト

株式会社新葬祭くちわ

株式会社新葬祭くちわ
 代表取締役 福歳年行

TEL 0824-87-2155
 FAX 0824-87-2156
 携帯 090-7974-9845

て、私も一員となって役に立ちたいと思つたからです。入隊した当初は、初めての集団生活や訓練等に対しての不安や心配でいっぱいでしたが、同期がいてくれたおかげでそれらの考えはすぐになくなりました。訓練ではついていくことや覚えることに必死で大変でしたが、今では動作を身につけ余裕を持って動けるようになり、班長などもしっかり指導をしてもらうことで、辛い訓練を乗り越えることができ、今まで以上に成長することができました。これらの辛い訓練を乗り越えることで、いつ災害が発生しても多くの人を助けられることに繋がっているのだと改めて感じました。私もその一員となつて全力で頑張つていきたいと思つています。

(安佐北区出身)



入隊に際しての所感

山本 華

入隊当初は不安や緊張の毎日でした。高校を卒業したばかりの子たちと二十四歳の自分が同期として一緒に生活、訓練できるのが自分の中で一番の不安要素でした。けれど、実際は生活面においては何も問題はなく、年齢関係なく平等

で家族以外の人間と寝食や苦楽を共にするという経験はとても新鮮で、協調性や積極的な行動力など日常生活から得られるものも多くありますが、自分の成長に繋がります。訓練に関しては、当初、体力が全く追いつかず、気持ち急いでやきもきすることが多かったのですが、さすが上司の親身で丁寧な指導や同期がいつも私の隣にいて支えてくれたり、引っ張ったりしてくれたり、引つ張らないことを諦めて終えることなく乗り越えることができました。そうして乗り越えることで自分の能力が確実に向上していることが身に沁みて実感できることが、今はとても楽しいです。入隊してからは今までの日常とほぼ全てが一変します。稀にホームシックになる時もありますが、厳しい訓練等も乗り越えて、次に帰る時は、一皮も二皮もむけて成長した私を見てもらいたいです。

(安芸郡出身)



入隊に際しての所感

藤原 星斗

人のため、人の役に立てる仕事に就きたかったので自衛隊を選びました。昔から何事も裏で支えることをしてきたので、自分の性格面でも体力面でもとても合

い、充実しています。誰かが活躍する時、必ず誰かが支えてくれていきます。何か成功した時、うまくいった時は支えてくれた人への感謝の気持ちを忘れないように自分は日々生活しています。国民の皆様への感謝を忘れない自衛隊にそこがこれだけ入隊しました。規則や規律が厳しい生活で、最初は不安しかありませんでしたが、慣れてくると自然と規則を守り、自衛官らしい行動ができるようになってきました。訓練では、しんどい時もありますが、班の皆で支えあい、その中でも自分の成長を実感できました。集団生活ということもあり、1人だけでなく、皆で高め合い成長できることが最高です。また、体つきも変わるので夏にはモテる体になります。休日はゆっくりと疲れをとるなどして過ごしています。自衛隊は厳しいというイメージがありますが、指導して下さる教官の方々はとても親切で、何事も根気よく丁寧に教えて下さいます。厳しい指導の中にも自分たちを制服の似合う自衛官に育てるといふ愛を感じるので、成長したいという前向きな気持ちになりました。そして一番良かったことは、かけがえのない同期とめぐり合えたことです。

年齢の差はありますが、同期同士で励まし合い、乗り越えることで、信頼し合える親友をつくることができました。今はつきりと将来自分が何をしたいのか決まっています。人は少ないと思

います。私もそうでしたが、自衛隊の制服に身を包み、日々訓練や生活をするだけで、自分の成長を実感することができません。もし将来に迷い不安を思うなら仕事はやりがいを選んでほしいと思います。自衛隊は命と向き合っている仕事です。こんなやりがいのある職は自衛隊だけだと自分は考えています。

(尾道市出身)



入隊に際しての所感

越智 絢音

私は、人の役に立てるような仕事をしたかったことと、両親が自衛官だったため入隊しました。教育隊の生活は時間がしっかりと決まっていたり、規則が厳しかったり、最初は大変だと感じましたが、慣れると事前に準備したり、仲間と声を掛け合ったりしてキビキビ動けるようになりました。休日は班のみんなとお出かけしたり、運動したり、ゆったり休んだり充実した生活を送っています。初めは集団生活に慣れることができたか不安でいっぱいでしたが、明るくて優しい同期と出会えたことで毎日厳しい訓練を乗り越えることができていると思います。これから自衛官としての自覚を持って人の役に立てるよう

自衛官候補生
第一線で活躍する任期制コース

たるた基礎的部任、海・勤なり、必要な経年、2年として勤務します。自衛官となるために必要な教育訓練(陸空3年)と隊員としての任務をこなします。

(呉市出身)

高等工科学校
生徒



入隊に際しての所感

佐藤 寿磨

陸上自衛隊高等工科学校に入隊した当初は、これからの自衛隊の生活や学校のことなど、知らないこと

私たちは、自衛隊を応援したい
自衛隊員の家族です。

広島県自衛隊家族会
府中町支部

支部長 小早川 澄
会員一同

事務局：kiyocho38@yahoo.co.jp

私達も自衛隊家族会活動を応援します

NPO法人 日本空手松涛連盟
広島県本部

会長 正 顕手 溝
部長 男 政 安 永
事務局 長 義 弘 柏 原
理事長 正 司 藤 本

事務局 〒722-2323 尾道市因島土生町1819-56
TEL/FAX (0845) 22-3513

CC PLAZA COMMUNITY&CULTURE

協同組合 三次ショッピングセンター
代表理事 木村 易三

広島県三次市十日市中一丁目1番10号
TEL 0824-63-7111
http://www.ccplaza.jp

営業時間 朝9時～夜7時30分
(総合食品マルシヨクは夜8時まで営業)

隊員の最も身近な組織であることに誇りを持ち
力をあわせて自衛隊を支えます

公益社団法人自衛隊家族会広島県自衛隊家族会

福山市自衛隊家族会

会長 渡 邊 政 夫
会員一同

事務局 TEL：084-955-3468



手軽な本格派 生きるこの味、この香り

フリーズドライをお供え盛籠に

私たちサクセスプランニングでは、送られた方が喜ばれるフリーズドライ食品を使用した「喜ばれる盛籠」を販売しております。

株式会社 サクセスプランニング 〒721-0963 広島県福山市南手城町2丁目17-1
TEL.084-971-7340 FAX.084-927-4440
✉s-info@su-pl.jp

ばかりでとても不安でした。しかしながら、先輩方が明るく優しく接してくれ、すぐに気持ちはとても楽になりました。また、普通の高校生の日常生活とは違い、厳しいものとは予想していましたが、実際に二週間も過ぎると、生活になれ、新しい環境に楽しさを感じることもできるようになりました。そして、厳しい学校生活において同期の存在がとても大切でかけがえのない存在であることを知りました。多くの同期とともに助け合いながら日々、頑張っています。自衛隊での集団生活は予想通り厳しいものですが、すべてにおいて、新しい経験として楽しんで取り組めば、苦手なことさえ、楽しく取り組めるようになりま

(福山市出身)

入校に際しての所感

武市 英浩



着校をする日、私は不安な気持ちでいっぱいでした。周囲には初対面の人ばかりで今からどのようなことを行うのか分からず、不安でいっぱいでした。実際に生活を送っていく中で大変だと思ったことは、時間管理です。生活の中でベツドメイク、靴磨き、プレスなどを限られた時間の中で行わなければならない、最初は全くとできませんでしたが、しかし、対番の先輩(2年生)や模範生徒(3年生)が生活指導を行ってくださったおかげで、少しずつ上達していききました。入校してから約二か月たちました。私たちにサポートしてくれる職員がたくさんいることを実感しています。防衛基礎学では、区隊職員の方々から陸上自衛官に必要な基本教練等を指導していただいております。一般教育では防衛教官方に勉強面の指導をいただき、充実した日々を送っています。営内生活を送っていく中で、同期で助け合う大切さを感じました。これまで辛いことも区隊全員で協力することができました。陸上自衛隊高等工科学校に入校してたくさんの人と関わることで自衛官

入校に際しての所感

吉岡 勇太郎



私は、陸上自衛隊高等工科学校に入校し、まだ二か月程ですがすでに様々なことを学ぶことができました。たとえば時間の大切さや集団生活において団結心がどれほど大切なのかです。本校では一日のほとんどを同期生と過ごします。そのため他の高校では決して得ることのできない団結力が同期との間に生まれま

への任官に向けて成長できていると実感しています。これからも、同期や職員方に感謝しつつ、目標を立てて、日々努力していきたいと思っています。

(呉市出身)

航空学生

自衛隊のパイロットを養成するコース



海上・航空自衛隊のパイロット等を養成する制度です。入隊後は「航空学生」として、全員が学生宿舎で規則正しい団体生活を送ります。

高等工科学校生徒

専門技術者を養成するコース

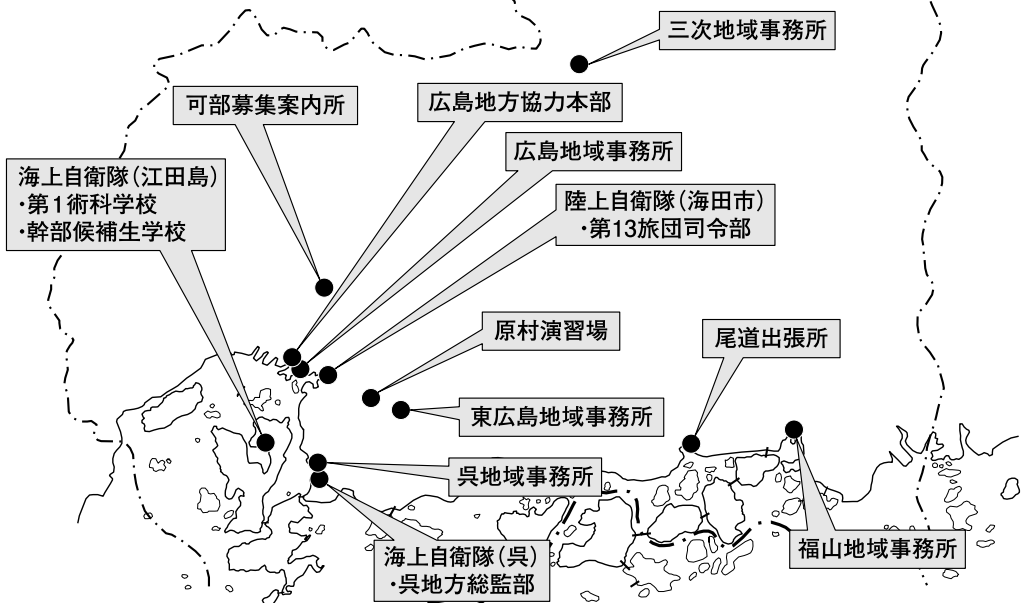


将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品にも対応できる養成卒業生を育てることを目的として、国際社会に貢献する自衛官を養成する制度です。

クラブ活動の設備が整っています。生活指導をしてくださる方も、全員自衛官の先輩なので自衛隊について分からないことはすぐに聞くことができます。「体もかっことよくなる。心も鍛えられる。お金も貯まる。自衛官になれる。」今、私はこの学校に入校して本当に良かったと思っています。このように自衛官を目指している人にとつて、環境の良い高校はこの陸上自衛隊高等工科学校だけです。ぜひチャレンジして欲しいと思います。

(福山市出身)

広島県の自衛隊配置図



防衛大学校学生

幹部自衛官を養成するコース



将来、各自衛隊の幹部自衛官となる者(パイロット要員含む)を4年間の修業期間において養成する制度です。

強い「絆」で家族をつなぐ自衛隊家族会

広島県自衛隊家族会 安佐北支部

支部長 新川 護

受け持ち地域 広島市安佐北区・北広島町・安芸太田町・安芸高田市の一部

大きな夢を応援します

広島県防衛協会

会長 池田 晃 治
会員一同

〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL (082) 222-6610

あなたも当会の会員に
なってみませんか



公益社団法人 隊友会

広島県隊友会

会長 寺尾 憲 治
会員一同

事務局 TEL : 082-888-8807

福山防衛協会

会長 林 克 士
会員一同

〒720-0067 福山市西町2-10-1 福山商工会議所内
TEL (084) 921-2345



平和を、仕事にする。
陸・海・空自衛官募集中!

令和3年度自衛官等採用案内

自衛隊広島 検索



募集種目		資格	受付期間	試験期日	合格発表	入(校)隊
航空学生		海：高卒（見込含） 23歳未満の者 空：高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～9月9日	【1次】9月20日 【2次】10月16日～21日 【3次】（海）11月19日～12月15日 （空）11月13日～12月16日	【1次】10月8日 【2次】（海）11月10日 （空）11月5日 最終 4年1月18日	4年3月下旬 ～4月上旬
一般曹候補生		18歳以上33歳未満の者 <small>（32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者）</small>	7月1日～9月6日	【1次】9月16日～19日 【2次】10月9日～24日 <small>※いずれか1日を指定されます。</small>	【1次】10月4日 最終 11月16日	4年3月下旬 ～4月上旬
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の者 <small>（32歳の者は、採用予定月1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者）</small>	年間を通じて行って おります。	受付時にお知らせします。	試験時にお知らせします。	4年3月下旬 ～4月上旬
防衛大学校生	推薦	高卒（見込含） 21歳未満の者 <small>※推薦については高等学校長の推薦 等が別途必要です。</small>	9月5日～9月10日	9月25日・26日	10月29日	4年4月上旬
	総合選抜	高卒（見込含） 21歳未満の者 （自衛官は23歳未満）		【1次】9月25日 【2次】10月30日・31日	【1次】10月15日 最終 11月24日	
	一般	高卒（見込含） 21歳未満の者 （自衛官は23歳未満）	7月1日～10月27日	【1次】11月6日・7日 【2次】12月7日～11日	【1次】11月24日 最終 4年1月21日	
防衛医科大学校医学科学生		高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～10月13日	【1次】10月23日 【2次】12月15日～17日	【1次】12月2日 最終 4年1月31日	4年4月上旬
防衛医科大学校看護学科学生		高卒（見込含） 21歳未満の者	7月1日～10月6日	【1次】10月16日 【2次】11月27日・28日	【1次】11月12日 最終 4年2月4日	4年4月上旬
高等工科学校生徒	推薦	男子で中卒（見込含） 17歳未満の者 <small>※推薦については中学校長の推薦 等が別途必要です。</small>	11月1日～12月3日	4年1月8日～11日 <small>※いずれか1日を指定されます。</small>	4年1月20日	4年4月上旬
	一般	男子で中卒（見込含） 17歳未満の者	11月1日 ～4年1月14日	【1次】4年1月22日・23日 【2次】4年2月3日 ～2月6日	【1次】4年1月28日 最終 4年2月17日	
貸費学生		大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院（専門職大学院を除く）修士課程在学（正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満（大学院修士課程在学者は28歳未満））	10月1日 ～4年1月14日	4年1月29日	4年4月22日	卒業（修了）後

隊員採用の問い合わせは、各市区町役所又は下表自衛隊広島地方協力本部各地域事務所等へ

本部	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館6階	082-221-2957(代)	福山	〒720-0063 福山市元町15-16 和田ビル2階	084-923-4743
尾道	〒722-0036 尾道市東御所町9番1号 尾道ウォーターフロントビル3階	0848-22-6942	東広島	〒739-0014 東広島市西条昭和町5-1 ジブラルタ生命ビル3階	082-422-4252
呉	〒737-0028 呉市幸町6-15	0823-23-1226	広島	〒732-0828 広島市南区京橋町1-3 TATSUMI広島駅前ビル2階	082-261-1070
三次	〒728-0013 三次市十日市東4丁目3-5 グリーンハイムビル1階	0824-62-0350	可部	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-37-40 大下新館ビル1階	082-815-3980



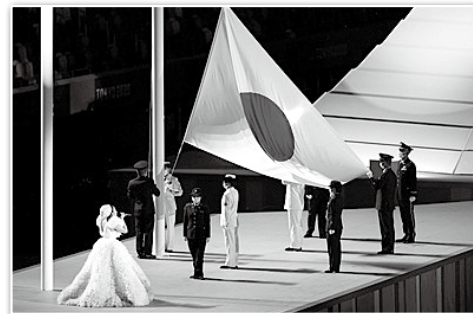
- 令和2年7月30日
呉水中処分隊は、中津港沖で不発弾(写真)を回収。
- 令和2年11月16日
伊予灘で「爆発物らしきもの」を回収。

自衛隊は、戦後、38,526発(平成2年度末)の不発弾を処理。現在でも約1,500発/年を処理。



- 令和3年5月24日
東京と大阪に自衛隊が運営する大規模ワクチン接種センターが開設された。

国内での1万人/日、接種目標達成のための最後の砦として計画されたとのこと。医官を中心に民間も含め約1,000名が従事。



- 令和3年7月23日
2020東京オリンピック開催

MISIAの『君が代』独唱により、自衛隊による国旗掲揚、隊員の支援数約8500名。自衛隊体育学校から出場した17名の選手のうち金メダル3個、銀メダル1個、銅メダル1個、合計5個のメダルを獲得。

自衛隊の活動